

## 第 22 回 《研究助成・出版助成》の企画を募集します

「神の言葉に根ざす積極的な神学は主として教会に奉仕し、その信仰を整理し、訓練し、これを力づけ、また教会のよって立つ信仰を文化の世界に伝達するものである。」（信濃町教会創立者 高倉徳太郎）

本教会は〈教会の神学〉および〈教会の宣教に資する神学〉を求めた創立者の志を受け継ぎ、本年度も《研究助成》および《出版助成》を行います。上記の趣旨をご理解のうえ、奮ってご応募ください。

### 応募要項

《A部門：研究助成》 キリスト教神学・キリスト教思想に関する個人研究ないし共同研究。研究期間は「助成」決定から2年以内。同主題で他の機関で研究助成を受けている場合は対象外です。

《B部門：出版助成》 キリスト教神学の著作（それに類する学問領域も可）原稿は日本語によるもの、出版社が決定しているものを対象とします。申請は1出版社1点に限ります。自費出版は対象外です。

▷助成金額 1件につき50万～100万円。

研究助成の成果は公刊または講演等の形で報告する義務を負います。

▷提出資料 ①申請書3部（本教会の下記ホームページの「神学研究・出版助成」から印刷可能）

②出版助成は原稿3部（受領後は採否にかかわらずご返却しません。）

③研究助成は参考資料として主題に関する既発表の論文数点ないし学会発表のレジメ数点、研究歴の概略が分かる資料（論文名、発表誌名、発表年）を添付してください。

▷受付期限 2022年11月30日（水）（期限当日の消印まで有効）

▷応募資格 特に問いません。若い世代からの応募を期待します。

▷送り先 信濃町教会 ☎160-0016 東京都新宿区信濃町30 封筒に〈助成申請〉と明記。

▷採否発表 2023年4月8日（土）までに全応募者に書面で通知します。審査は本教会内に設置される「神学教育研究資金運営委員会」で行います。

▷問い合わせ ☎03(3351)4805（火）（水）（金）10:00～16:30 fax.03(3351)9847

### ◀これまでの助成の事例▶

【研究助成】 ○《日本の教会における聖餐に関する実態調査と神学的検討》（代表・宮谷宣史）

○《日本におけるバルト神学受容史》（代表・雨宮栄一） ○《キリスト教的視点からの人間の尊厳と深淵》（代表・向井考史） ○《新約聖書注解と現代の宣教》（代表・中野実） ○《松山高吉の宗教及び神学思想と聖書翻訳の再評価》（代表・洪伊杓） ○《カンボジア元ポル・ポト派支配地域における社会変革とキリスト教の広がり》（宇井志緒利） ○《有賀鐵太郎による基督教学の構想》（代表・小柳敦史）

【出版助成】 ○木村公一『インドネシア教会の宣教と神学』（新教出版社） ○関田寛雄『断片の神学』（日本キリスト教団出版局） ○バルト神学受容史研究会編『日本におけるカール・バルト』（新教出版社） ○木原桂二『ルカの救済思想』（日本キリスト教団出版局） ○呉寿恵『在日朝鮮基督教会の女性伝道師』（新教出版社） ○『並木浩一著作集 全3巻』（日本キリスト教団出版局） ○加藤哲平『ヒエロニムスの聖書翻訳』（教文館） ○佐藤司郎『カール・バルトとエキュメニズム』（新教出版社） ○大野恵正『神の言葉と契約』（新教出版社）